

学校経営方針

☆目指す学校像

- ①生徒が学んで良かったといえる学校
- ②保護者・地域社会に信頼される学校
- ③教職員の創意と協力を基盤にした学校

☆目指す生徒像

- ①自分を大切にし、他人を思いやる生徒
- ②学ぶことに喜びを感じる生徒
- ③自らの力で未来を切り拓く、たくましい生徒

○はじめに

教育とは、人生を開く鍵です。未来に生きる生徒たちの人生へ踏み入る鍵の開け方の基礎・基本を教えるのが学校の役目です。学校は生徒たちにとって、将来への夢と希望に溢れ、目を輝かせる場でなくてはなりません。

「何故、学校に行くの？」と問われたとき「君の持って生まれた良さや個性を精一杯伸ばし、豊かな心を育て、生涯にわたって生きる喜びを持てる礎を育てる場である」等と胸をはって言える学校を目指して、全教職員で取り組む。

1 信頼関係を大切にする

学ぶ楽しさと人間的なふれあいの豊かさに満ち、毎朝瞳を輝かせて登校してくる生徒の姿こそが、保護者・地域や社会の信頼を得る証であり、学校への信頼の心を育むことが出来ると考えます。そのためには、生徒同士、生徒と教師、教師同士が信頼関係で結ばれていることが大切である。いかに社会が変化しようとも、この信頼関係が構築されていなければ、いかなる教育実践も結実するものではない。

「教育は人なり」です。「信頼関係を築くこと」全てはそこから始まる。生徒との協働・共汗・共感を分かち合える教育活動を行う。

2 生徒の立場から出発する

生徒は誰しも、学校で①勉強が分かるようになりたい。②勉強以外でも何か生き生きと取り組み。自分が認められるものを持ちたい③誰とでも仲良くし、友達をたくさん作りたい その思いを叶えてくれる④魅力ある先生に巡り会いたい と考えています。そのような生徒たちの願いに応えられる、生徒の視点に立った教育活動を目指す。

3 目指す教師像

子どもと豊かなコミュニケーションをとる教師

日々、専門性の向上に励む教師

使命感を持つ教師

4 学校教育目標

☆「一人ひとりを大切にし、生きる力を育む」

5 学校経営5つの柱

(1) 自分と他人を大切にする豊かな心を育てる <心の教育>

(2) 確かな学力を身につけさせる <基礎基本>

(3) 良い生活習慣を身につけさせ心身共に健康な生徒を育てる <心技体>

(4) “日々実践”こそが第1の研修：研修を大切にする <切磋琢磨>

(5) 家庭・地域から信頼を得る <地域教育の基盤>